

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 (農 学)	氏名	戴 容秦思
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目			
中国における非従来型加工農産物市場の展開と食品加工資本			
論文審査担当者			
主 査	准教授	矢野 泉	
委 員	教 授	田中 秀樹	
委 員	教 授	山尾 政博	
委 員	教 授	前田 照夫	
委 員	准教授	細野 賢治	
〔論文審査の要旨〕			
<p>本論文の目的は、改革開放以後急速に成長している中国の加工農産物（中でも主に先進諸国から導入された新規の加工農産物＝非従来型加工農産物）の市場・流通に注目し、食品加工資本の形成と展開及びそれら資本と農業生産者（原料農産物生産者）との取引関係の変化の解明を通じて、近年の中国の食品加工資本の発展段階と食品加工資本と食料生産部門の関係を明らかにすることである。序章と終章を含む8章から構成されている。この研究目的にアプローチするための各章の課題と成果は以下のとおりである。</p> <p>「序章 問題背景と研究課題の設定」では、近年の中国の食品工業の急成長と加工農産物が食料の生産と消費に与える影響をふまえながら、研究の目的と方法及び食品産業に関わる既存の理論研究をふまえた本研究の理論的フレームワークを明示した。</p> <p>「第1章 中国における食料市場の変化」では、中国の食料市場の変化とそこにおける加工食品の社会経済的位置づけを検討し、加工食品の中でも非従来型品目の需要の増大や食生活への定着、加工・外食部門の外国資本の影響、原料市場と製品市場の不均衡発展、消費者選択の大手加工資本商品への集中等を明らかにした。</p> <p>「第2章 中国食品工業の展開と食品加工資本」では、現地調査に基づく中国食品工業の展開と現状の分析を行い、市場メカニズムの導入にともなう原料農産物取引の拡大、公有制部門の民営化と私有企業の成立、資本の集積・集中、グローバル展開等、中国における食品加工資本の資本主義的展開過程を明らかにした。</p> <p>「第3章 食品加工資本の製品市場対応－乳業を事例に－」では、食品加工資本の近年の動きがもたらす加工食品（製品）市場への影響を乳業資本を事例に検討した。その結果、全国規模で展開する大手乳業資本の形成と拡大、それにとまなう市場圏の拡大が、食品加工技術の高度化とともに展開している点、及びそうした動向に対して地方中小乳業資本が商品戦略や販売チャネルの特約化等の動きで対抗している構図を明らかにした。</p>			

「第4章 乳業資本の原料調達構造と生乳生産者」、「第5章 コーヒー生産の展開と加工資本の原料調達」、「第6章 村落基盤型ブロイラーインテグレーションの展開」では、食品加工資本がどのような原料調達行動をとり、原料生産部門（農業）にどのような影響を与えているのかについて、牛乳、コーヒー、ブロイラーという3つの非従来型農産物を取り上げ検討した。第4章では、事例調査に基づいて契約生産と直営生産という2つの取引関係を精査し、乳業資本の原料生産段階への資本投下と原料生産者の包摂程度の相関、原料生産者の農業経営上の自由度の低さを指摘した。第5章では、海外から中国へのコーヒー生産の導入過程をふまえた上で、事例調査に基づき、産地の成熟度合と原料生産者段階での一次加工処理技術の有無、原料農産物の買取形態等が、コーヒー加工資本による生産者の掌握の度合いに大きく影響していることを明らかにした。第6章では、ブロイラーを事例に、外国資本によるブロイラーインテグレーションの展開を明らかにするとともに、村落を基盤に技術や資本を集積した農家集団が飼料や加工部門等を内部化し、企業的に展開する、中国におけるインテグレーションの形態を明らかにした。

以上、本論文は、改革開放以降の中国の食料市場の変化と食品加工資本の展開を分析し、非従来型加工農産物市場と食品加工資本の展開には資本主義国においてすでに確立された生産・流通体系が内包されていること、食品加工資本のインテグレーションによる生産過程の包摂や農民の賃労働者化、またその一方で原料農産物生産段階の企業化が急速に進んでいることを指摘した。中国における食品加工資本やそのインテグレーションについての研究は中国の食品加工産業振興を目的としたものが多かったが、戴氏の研究は詳細な事例調査に基づき、食品加工産業やその製品市場だけでなく食料生産部門への影響を実証的に分析した重要な研究であるといえる。

タイトルと目次、各章の表題、文章の正確さ、科学的な正確さ、データの取り扱い、考察についても、博士論文として十分な水準にあることを確認した。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（農学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。